



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月4日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	1,423	△6.3	△106	—	△117	—	△193	—
2024年8月期第3四半期	1,519	△0.8	△18	—	△23	—	△137	—

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 △193百万円(—%) 2024年8月期第3四半期 △136百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	△19.17	—
2024年8月期第3四半期	△13.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	1,995	851	42.7
2024年8月期	2,651	1,045	39.4

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 851百万円 2024年8月期 1,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—		
2025年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,893	△6.0	△356	—	△373	—	△449	—	△44.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2025年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年8月期3Q	11,300,000株	2024年8月期	11,300,000株
2025年8月期3Q	1,221,144株	2024年8月期	1,221,144株
2025年8月期3Q	10,078,856株	2024年8月期3Q	10,078,899株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価高騰による個人消費の足踏み等が見られたものの、雇用環境の改善やインバウンド需要を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、米国通商政策の影響による景気下振れリスクの高まりや、中国経済の低迷、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、時価総額の拡大を目指し、収益基盤である占い事業の収益体制の再構築を図ると同時に、コンテンツサービスからデータマーケティングサービスへと業容を拡大するため、AIを活用したシステムの開発並びに新規サービス「肌アプリ（仮称）」の開発を推進してまいりました。

電話・チャット占いサービスや自社メディアが増収した他、「きゃらデン」が黒字化する等、一部サービスにおいては緩やかながら着実に収益が増加したものの、占い新規コンテンツの不調が影響し、前年同期で減収減益となりました。なお、利益面においては、株主数の大幅な増加に伴う管理コスト、採用費及び人件費、並びに外注費等の増加の他、2025年5月23日開催の取締役会決議に基づく第三者割当による第3回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に係る諸費用7百万円が生じており、損失を計上いたしました。また、当第3四半期連結会計期間においては、2025年8月期通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産74百万円を取り崩し、同額の法人税等調整額を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,423百万円(前年同期比6.3%減)、営業損失106百万円(前年同期は営業損失18百万円)、経常損失117百万円(前年同期は経常損失23百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失193百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失137百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。

① 占い事業（旧：デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス）

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いが電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。中間会計期間に引き続き、システムによる業務効率化により電話・チャット占いサービスが前期比で増収増益となった他、自社メディアの課金収入が安定的に伸びましたが、占い新規コンテンツの伸び悩みが影響し、占い事業全体としては売上・利益ともに前年同期比で減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における占い事業の売上高は1,340百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益298百万円(前年同期比23.0%減)となりました。

② エンタメ・マッチングサービス事業（旧：SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス）

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面で人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスとして、主に「きゃらデン」の運営を行っております。「きゃらデン」については、売上は前年同期比で横ばいとなったものの、新システム導入による業務効率の改善により黒字化いたしました。一方、シミュレーションゴルフ店舗の運営において損失を計上いたしました。一方、前連結会計年度において不採算サービス2つから撤退したことにより、赤字幅は大きく縮小しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は80百万円(前年同期比5.3%減)、営業損失4百万円(前年同期は営業損失90百万円)となりました。

③ その他事業（ヘルスケア/EC 他）

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第3四半期連結累計期間においては、韓国コスメEC「Coréelle JAPAN」の運営及び新規美容関連サービス「肌アプリ（仮称）」の開発を推進しており、システム開発にかかる先行投資により損失を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は2百万円(前年同期比22.0%増)、営業損失87百万円(前年同期は営業損失55百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第3四半期連結累計期間において、重要な変更等はございません。

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して655百万円減少し、1,995百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少692百万円及び売掛金の減少24百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産1,527百万円、有形固定資産7百万円、無形固定資産280百万円及び投資その他の資産180百万円となっております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して462百万円減少し、1,143百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少127百万円及び長期借入金の減少217百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債742百万円、固定負債400百万円となっております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して193百万円減少し、851百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少193百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後当社では、「第三者割当による第3回新株予約権および第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行」(※)により調達した資金等を活用することで事業成長を加速させ、企業価値の拡大を図り、株主価値の向上に努めてまいります。

具体的には、当社が強みとする女性ユーザーの「悩み」や「嗜好」に関する蓄積データを活用した「データマーケティング支援サービス」の他、女性ユーザーの関心が高い分野に関するサービスを強化するべく、「肌アプリ(仮称)」の開発・推進に注力いたします。加えて、主力事業である占いサービスにおいては、AIの活用及び高MAU企業との提携による占いの展開等により、収益モデルの多様化及び業務効率の向上を推進することで収益の拡大を図る考えです。

以上を踏まえ、中期経営計画については現在見直しと数値の精査を行っております。修正内容等については、完了次第速やかに公表いたします。

なお、2025年8月期の連結業績予想数値は次のとおりです。

(2025年8月期 通期業績予想)

売上高1,893百万円 営業損失356百万円 経常損失373百万円 親会社株主に帰属する当期純損失449百万円

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社及び当社グループの事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。詳細については、2025年7月4日付で開示いたしました「繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 2025年5月23日付で開示いたしました「第三者割当による第3回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行並びに第三者割当契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,960,337	1,267,509
売掛金	227,283	202,924
商品	-	57
仕掛品	2,750	10,446
貯蔵品	293	320
その他	41,075	46,318
貸倒引当金	△635	△557
流動資産合計	2,231,105	1,527,021
固定資産		
有形固定資産	6,802	7,339
無形固定資産	148,152	280,751
投資その他の資産		
敷金及び保証金	94,559	94,262
その他	173,960	86,171
貸倒引当金	△3,349	△235
投資その他の資産合計	265,169	180,198
固定資産合計	420,125	468,289
資産合計	2,651,230	1,995,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,025	47,712
1年内返済予定の長期借入金	669,228	542,138
未払費用	43,124	37,288
未払法人税等	6,019	2,132
未払消費税等	5,787	487
株主優待引当金	74,114	-
その他	137,973	113,228
流動負債合計	988,272	742,986
固定負債		
長期借入金	617,869	400,432
固定負債合計	617,869	400,432
負債合計	1,606,141	1,143,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	685,269	492,072
自己株式	△514,219	△514,219
株主資本合計	1,045,088	851,891
純資産合計	1,045,088	851,891
負債純資産合計	2,651,230	1,995,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,519,187	1,423,381
売上原価	770,141	715,437
売上総利益	749,046	707,944
販売費及び一般管理費	767,165	814,150
営業損失(△)	△18,118	△106,206
営業外収益		
受取利息	3,341	4,154
その他	422	279
営業外収益合計	3,764	4,434
営業外費用		
支払利息	7,934	8,393
社債発行費	-	7,339
その他	962	47
営業外費用合計	8,896	15,780
経常損失(△)	△23,250	△117,552
特別損失		
減損損失	74,064	-
事業撤退損失引当金繰入額	19,557	-
特別損失合計	93,621	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,872	△117,552
法人税、住民税及び事業税	2,608	1,283
法人税等調整額	17,755	74,361
法人税等合計	20,363	75,644
四半期純損失(△)	△137,236	△193,197
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,236	△193,197

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純損失(△)	△137,236	△193,197
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	935	-
その他の包括利益合計	935	-
四半期包括利益	△136,300	△193,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,300	△193,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過措置に従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	33,166千円	25,180千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
外部顧客への売上 高	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,431,874	85,141	1,517,015	2,171	1,519,187	—	1,519,187
セグメント利益又は セグメント損失(△)	386,801	△90,118	296,682	△55,591	241,091	△259,210	△18,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△259,210千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用259,210千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「占い事業」「エンタメ・マッチングサービス事業」及び「その他事業」において、事業撤退によるため及び当初想定していた収益獲得や費用削減の効果が見込めなくなったため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において74,064千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,340,064	80,667	1,420,731	2,649	1,423,381	—	1,423,381
外部顧客への売上 高	1,340,064	80,667	1,420,731	2,649	1,423,381	—	1,423,381
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,340,064	80,667	1,420,731	2,649	1,423,381	—	1,423,381
セグメント利益又は セグメント損失(△)	298,028	△4,479	293,548	△87,166	206,382	△312,588	△106,206

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△312,588千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用312,588千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。